

もうすぐ
オリンピック

安心安全な登山のために！

日本百名山 磐梯山

NPO法人 裏磐梯エコツーリズム協会

TEL : 0241-23-7860 <http://www.eco-urabandai.com/>

●設立のきっかけ

- ・平成15年
裏磐梯が環境省のエコツーリズム推進モデル地区に選定される
- ・平成19年
住民が主体となって任意団体を設立する
「エコツーリズム入門国立公園」
として自然や歴史、文化等を掘り起こし、深く学ぶ場として地域活動を展開する
- ・平成29年9月
活動を継続することにより、持続可能で豊かな地域作り推進と次世代への宝の継承を目的に、NPO法人を設立

●団体の目的

磐梯山周辺地域における エコツーリズムの推進

- ◆「自然環境の保全」
- ◆「観光振興」
- ◆「地域振興」
- ◆「環境教育の場としての活用」

共有する	資源を探して磨き 価値を共有する
伝える	資源の価値の情報発信
守る	資源の利用によって自然や文化が傷つかないように守る
興す	資源を活用して産業を興す

エコツアー協会の
事業の中の
ひとつ！

【モニタリングと外来種駆除事業】



磐梯山の
登山道と
整備状況



裏磐梯
湖沼群
の水質



外来種駆除



五色沼
探勝路
通罫線確保



裏磐梯の花
(希少種)

- その他、野鳥やホタルなど9つの調査を行う
- 各事業毎月一回、担当者2~3名で自然環境の推移を記録
- 年に一回専門家とともに保全について検討し報告書を提出
- 環境省や村と協働し特定外来植物の駆除活動を実施

地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化

【モニタリングの成果】

- 五色沼が眺めよく見渡せるように環境省に訴え、展望デッキの設置につながった
- 希少な植物や裏磐梯湖沼群の水質、登山道整備の重要性を理解できた
- モニタリング報告書を作成し、有識者を招いて検討会を行うことにより、具体的な提案を受けることができた

【外来種駆除の成果】

- 日本の在来種を守った
- 農協さんから理解を得られ、チラシを組合員の配布資料として配った
- 外来種の駆除と同時に調査も行い効果的な駆除のタイミングなどを確認できた
- 子ども向け講座を行い、環境学習に役立っている



私たちの思い、考え

●地域の課題

日本百名山「磐梯山」
の印象が良くない



『すばらしさ』
が伝わらない！！

- ① トイレが他の百名山に比べ極端に少ない
- ② 登山道、駐車場の整備が追い付かない（看板・木道・危険箇所・通景線）
- ③ 在来の貴重な植物が少なくなっている（特定外来種等の繁茂）

●目指す地域の姿

- ・ハード面の整備・安全な登山
- ・希少植物の増加



観光客・登山者の
印象が良くなる

- ① トイレスペースの増設、携帯トイレの普及
- ② 看板の設置、木道の修理、危険箇所の整備、入山ルールの整備により
安心安全の確保
- ③ 高山植物や希少種が増える事によって磐梯山ブランドが確立

協働に向けて【磐梯山でのCSR(企業の社会的貢献)】

企業名
入り
チラシ

悩みや困りごと

①情報発信・広報の不足

「安全のしおり」等の未作成
冬山入山に対するルールの未作成
SNSでの発信が不十分・技術力の不足

②マンパワーの不足

外来種の繁殖力が強く思うように
進まない

③登山道整備や標識看板の不備

行政に要請しても迅速な対応が得
られない

④資金不足

作業員の経費や整備の資材等が
ない

お願いしたいこと

①協働での情報発信

「安全のチラシ」「啓発用パンフレット」等の共同作成や、SNSでの情報発信をお願いします

②企業のCSR(企業の社会的貢献)活動

社員の皆さんの社員研修として磐梯山で駆除活動を行いましょう！

③資材の提供

磐梯山の木道、標識看板、トイレブース確保の材料・トタン・金物などの資材をご提供ください

④資金の補助

登山道、木道、トイレブース、駐車場駆除活動、冬山入山ルール作りに必要な資金提供をお願いします

よろしくお願ひいたします！

日本百名山の一つ

磐梯山

今、活動を始めることで
福島県の**宝**が更に輝きます
登山者・観光客が増えて
地域が元気になる
移住者が増えて
子ども達が増える
持続可能な社会にむけて
「さあ、歩き出そう」